



家庭的保育室に

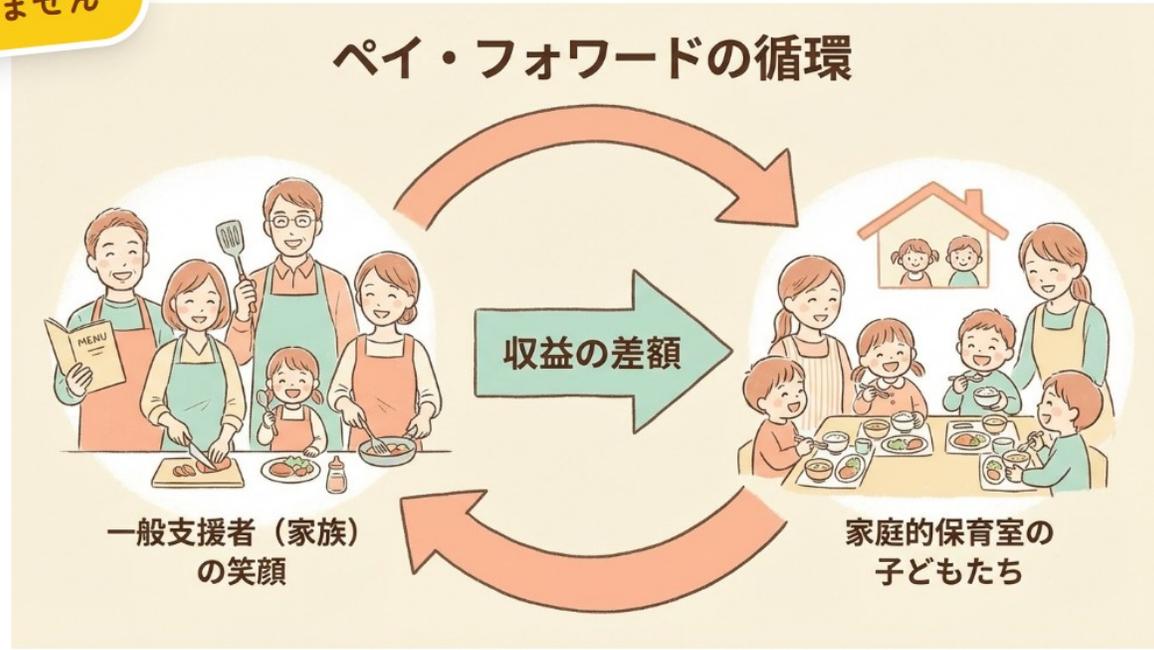
献立と安心を

お届けしたい！

♡ ペイ・フォワード（恩送り）の仕組み

あなたの「購入」が、 誰かの「救い」になる仕組み

👉 寄付ではありません



幸せの循環 🔄

家庭的保育室からは「本気の証」として年間500円のみ。
実際にかかる費用の「差額」を、皆様のリターン購入費で補います。

🍴 ご家庭での「あおいの給食」が、遠くの子どもたちの「おいしい！」に直結します 🧑

♡ クラウドファンディング プロジェクト

500円 で守れる 家庭的保育室の“おいしい!”

孤独な戦いを終わらせる「献立（モノ）」と「安心（サポート）」を届けたい。

本気の証

500円

年間サポート費

支援対象

1,500箇所

全国の家庭的保育室

発信母体

115万人

総フォロワーが見守る

Presented by あおいの給食室 (合同会社spoon)

WHO WE ARE

あおいの給食室



SNS総フォロワー

115万人



活動開始

2018年～



保育現場経験

管理栄養士



66

大切にしている信念

「子どもが、どうしたら**“おいしい！”**と笑顔で食べられるか？」
ただ、それだけです。

給食は単なる昼食ではありません。
心と身体を育む、かけがえのない「大切な時間」です。
その時間を守るために、私は現場の先生方の力になりたい。



合同会社spoon 代表

管理栄養士 あおい

- ✓ 全国の保育園へ献立提供
- ✓ アレルギー対応アドバイス
- ✓ 誰でも作れる時短レシピ発信

家庭的保育室が抱える 「3つの危機」

危機①



孤独の危機 体制の脆弱性

- × 定員5名以下の小さな空間
- × 調理・献立・アレルギー対応をたった一人が背負う
- × 相談相手が不在のプレッシャー

危機②



経営の危機 淘汰の脅威

- ⚠ 2025年問題&物価高騰の直撃
- ⚠ 園児が1人減るだけで経営危機
- ⚠ 質の維持とコスト削減の板挟み

危機③



制度の危機 3歳の壁

- 🕒 原則0~2歳児のみの受け入れ
- 🕒 3歳での転園が前提の仕組み
- 🕒 長期的な経営の見通し困難

📣 全国約 1,500 箇所が、いま同じ苦境に立たされています

1 危機の詳細：「孤独」という重圧

相談できる相手が、
誰もいないんです。

— 現場からの切実な声



たった一人で背負う「食」の責任

大規模園のような調理チームはありません。献立作成からアレルギー対応、調理まで、すべて一人の肩にかかっています。



深夜の「手計算」地獄

高額な栄養計算ソフト（数十万円）は購入できません。保育の合間や深夜に、電卓で数字を合わせる日々が続いています。



体制の脆弱性

「本当はもっと
子どもたちと向き合いたい」

その思いが、
日々の事務作業と
プレッシャーに
押しつぶされそうになっています。

2 危機の詳細：「経営」という脅威

質を守りたい。
でもこの物価ではもう限界です。

— 追い詰められる経営者の叫び

「2025年問題」と物価高のダブルパンチ

少子化による園児獲得競争の激化と、止まらない食材費の高騰。小さな園ほど、社会の荒波をダイレクトに受けてしまいます。

一人減るだけで経営危機

定員が5名以下と少ないため、たった一人の園児減が収入に大きく響きます。「質の維持」か「存続」か、苦しい二択を迫られています。



⚠ 淘汰の危機

「子どもたちのために、本当はもっと良いものを食べさせてあげたい」

理想と現実の狭間で、多くの園が悲鳴を上げています。

3 危機の詳細：「制度」の壁と別れ

愛情を注いでも、
3歳でお別れなんです。

— 制度が生む切ない現実

1 原則「0～2歳」までの受け入れ

3歳児クラスに進級するタイミングで、連携施設や幼稚園への「転園」が前提。まるで家族のように過ごした場所を、制度上の理由で離れなければなりません。

2 長期的な見通しが立たない

数年単位で園児が完全に入れ替わるため、経営が安定しません。0～5歳までの一貫保育ができる大規模園に比べ、常に集客と存続の不安がつきまといまいます。



3 一番大切な時期だからこそ

「卒園まで見届けたい」
その願いは叶わなくても、乳幼児期の
かけがえのない成長を、全力で支えています。



献立（モノ）

- ✓ 1ヶ月分献立表（家庭的保育室バージョンとなります）
- ✓ 栄養価計算済みデータで手計算から解放
- ✓ 誤食リスク低減！卵・乳製品不使用が基本
- ✓ 忙しい現場も安心の時短・減塩・高栄養



安心（サポート）

- ✓ あおいが1年間寄り添い、いつでも相談OK
- ✓ アレルギー対応や代替食材の悩みをプロに直通
- ✓ 「一人じゃない」という心の支えを提供
- ✓ 孤独な戦いを終わらせる伴走型支援



保育に専念できる
時間が増える



コストを抑えて
質と栄養を守れる



「おいしい！」の笑顔が
日常になる

なぜ今、クラウドファンディングなのか？ 3つの目的

01

REASON

この「危機」を、社会に“知ってもらう”ため

- ✓ READYFORに集まる「社会課題に関心のある層」へ、この問題を届ける。
- ✓ プロジェクト自体がニュースとなり、メディア露出による**拡散**を狙う。



02

REASON

本当に困っている園に“本気の支援”を届けるため

- ✓ **500円/年** は、無料ではなく「本気の証」として設定。
- ✓ 実際の価値（年間数十万円）との「**差額**」を、皆さまの支援で埋める。



03

REASON

“持続可能な仕組み”を作るための初期費用として

- ✓ 全国約1,500箇所が、いつでも気軽に手を挙げられる。
- ✓ 一過性ではなく、**半永久的**に現場の孤独に寄り添うプラットフォーム構築へ。



VISION 2027年、私たちが見たい未来の風景

どんなに小さな園でも、 「おいしい！」の笑顔が 当たり前になる社会へ。

ある春の朝。小さなキッチンに出汁の香り。
保育ママはスマホを開き、今日の献立の確認
深夜の電卓作業に泣く夜は、もう終わりです。

給食の時間——「おいしい！」

5人の小さな笑顔が、部屋いっぱいに咲く。

私たちが目指すゴール



その温かい光景が、全国 1,500箇所 すべてで
日常になる未来をつくります。



資金計画



ご支援の使い道

-  ① 献立・データ整備
1か月分献立表作成、栄養計算費、アレルギー対応データ
-  ② ウェブ・配布環境
DL用ページ構築、スマホ対応UI設計・開発費
-  ③ 広報・活動報告
全国周知、YouTube/SNS報告動画制作、印刷費
-  ④ 諸経費
クラウドファンディング手数料

プロジェクトスケジュール



これは、皆さまと一緒に進める
“社会貢献の挑戦”です

500
円

たったワンコインで、
小さな園の“おいしい!”を
守ることができます。

1,500
箇所

全国の孤独な現場へ、
プロの献立と安心を
届けることができます。

115
万人

私たちの想いを結集し、
現場の力に変える
大きなうねりを作ります。



どうか、この挑戦の“仲間”になってください。

ご支援・拡散を、心よりお願い申し上げます。